

# 2021 高畠ワイン新酒のご案内

※8月27日(金) 受注締め切り

デラウェア栽培100余年の歴史をもつ山形高畠から新酒ワインのご提案



商品名	2021年 高畠新酒白甘口
容量/入数	720ml/12
JAN	4920205 511728
原材料	山形県産デラウェア
アルコール度数	11%
生産予定本数	受注分
小売価格(税込)	1,300円

山形県産デラウェア種を原料に、葡萄の風味そのままの果実香あふれるフレッシュな新酒甘口ワインです。



商品名	2021年 高畠新酒白辛口
容量/入数	720ml/12
JAN	4920205 511735
原材料	山形県産デラウェア
アルコール度数	11%
生産予定本数	受注分
小売価格(税込)	1,300円

山形県産デラウェア種を原料に、デラウェアの甘酸っぱさをそのままいかした爽やかな中口タイプのフレッシュな新酒ワインです。

2021年10月4日出荷予定

2021年10月4日出荷予定



商品名	2021高畠新酒 スパークリングデラウェア
容量/入数	750ml/ 6
JAN	4920205 511742
原材料	山形県産デラウェア
アルコール度数	11%
生産予定本数	受注分
小売価格(税込)	1,500円

際立つフルーティーな香りと酸と甘みの調和のとれた爽やかな飲み口が心地よい新酒スパークリングです。

当社出荷日記載です。発売日ではございません。



TAKAHATAWINE YAMAGATA

2021年10月6日出荷予定



TAKAHATA WINERY  
SINCE 1990



# たかはた デラウェア栽培100年の歴史

## 置賜における葡萄栽培の歴史

置賜における葡萄栽培の歴史は江戸時代に始まるが、川樋(現南陽市)大洞金山に諸国から集まった鉱夫がもたらしたなどの諸説がある。明治10年(1877年)頃、勸業寮から配布された西洋種が中川(南陽市)と**時沢(高畠町)**に残っていたので改良を努め、同30年頃ようやく栽培が普及し始め新たな品種が移入された。**同40年に山形県に初めてアメリカ種(ラブルスカ種)のデラウェアが移入**され、病害虫蔓延防止などの努力が続けられた。

戦後の農地改革でぶどう栽培は急激に増加し、昭和33年(1957年)、全国ぶどう研究大会が赤湯(南陽市)で開かれ、時沢(高畠町)にも展示圃が設けられた。

同35年、ジベレリン処理による種なしぶどうの開発によりデラウェアの印象が大きく変わると出荷も飛躍的に増大した。

葡萄酒醸造は明治25年、赤湯・時沢で初めて行われる。このような経緯の中、時沢ぶどうは昭和25年に東京神田市場に初出荷、高い評価を得、高畠町はいち早く大型低温貯蔵庫の導入によって品質の保持を図り、果実流通センターを建設するなど、その努力により**デラウェアは平成11年(1999年)以降、栽培面積・収穫量ともに全国1位**となっている。

(置賜の歴史より)



高畠町



新酒に使用された「デラウェア」。  
コンベアでさらに腐敗果を取り除く。  
着色のしっかりした葡萄を搾汁するため、ほんのりとピンク色の新酒ワインが出来上がります。